

2016年度コミュニケーション入学 入学前学習プログラム開講式 式辞

(2015年10月25日)

尾池和夫

2016年度の入学式に先立って行われる入学前学習プログラムの開講式です。このプログラムに参加される、夏期コミュニケーション入学 518名、秋期コミュニケーション入学 142名の皆さんを、京都造形芸術大学の教職員を代表して、この瓜生山学園のキャンパスに、心から歓迎いたします。

関門を突破して、660名の皆さんが今日から、入学前の学習プログラムを受講することになりました。まことにめでとございます。

お手元の資料の中に、皆さんが入学するこの京都造形芸術大学の学園歌「59段の架け橋」の歌詞があります。今日、皆さんが登って来た大階段です。この曲は本学のウェブサイトからダウンロードできますから、ぜひ唱ってみてください。59段を登り切った所、この建物の入口に黒御影石の石碑があり、それには藝術立国之碑と刻まれています。本学の創設者である徳山詳直さんの言葉があり、「宇宙の神秘に平伏せ、地球の偉大さに畏れを抱け、生きとし生きる命を愛し尊べ」とあります。この理念に基づいて入念に準備され、時間をかけて丁寧に行われた入学試験を、皆さんが見事に突破してこられました。それは皆さんの人生の大きな誇りの原点になるものです。志を高く持って、入学前の学習に取りかかっていただきたいと思います。

今、京都ではさまざまな秋の行事が行われています。その中で、本学の教職員や学生、卒業生たちが活躍しています。その例を4つ紹介しましょう。

この劇場と同じフロアにあるギャラリー・オーブでは、「DAYS JAPAN フォトジャーナリズム写真展 地球の上に生きる 2015」が、10月29日まで開催されています。マスメディアが報じない世界の真実を伝えていくことをテーマにしたフォトジャーナリズム月刊誌の、第11回 DAYS 国際フォトジャーナリズム大賞に、世界48カ国から約4200点の作品が寄せられました。その中から受賞作70点あまりが紹介されています。同じ時代に、同じ地球の上に生きる命に、貧困や戦争、世界の格差が存在します。それをこれらの写真を通して、皆さんにも見つめてほしいと思います。

上賀茂神社（賀茂別雷神社）第四十二回式年遷宮奉納劇「降臨」が、10月23日（金）から今日まで上演されます。本学の舞台芸術学科学生と卒業生が出演し、あるいはボランティアでたくさん活躍しています。宮本亜門作・演出による上賀茂神社の史上初めての奉納

演劇です。上賀茂神社では、奈良時代より数えて 42 回目の式年遷宮が執り行われています。この奉納劇「降臨」は、古くから伝わる風土記『山城国風土記』に記される「賀茂別雷神（かもわけいかづちのかみ）の誕生神話」をもとに、完全オリジナルで製作されたものです。京都最古の神社の境内に特設舞台と観客席を設けて奉納劇が上演されること自体、初めての試みです。

ザ ターミナル キョウトでは、「Theme 3 京都の新しいものづくり 野村春花展」が、11 月 01 日（日）まで開催されています。野村 春花さんは、本学大学院博士課程芸術専攻 1 年生です。染織テキスタイルを専攻しています。10 月 3 日から始まる、京都市と姉妹都市のパリの現代アートの祭典「NUIT BLANCHE（ニューイ・ブランシュ＝白夜祭）」の中での展示です。京都市内の至るところで日仏アーティストによる展示、ダンス、音楽ライブ、パフォーマンス、デジタル・アートなど、多様なプログラムが楽しめます。

「琳派 400 年記念 植物園 de RIMPA」が、今日まで京都府立植物園で開催されています。400 年を記念して、本学教授で現代美術作家のヤノベケンジさん、アートディレクターの増田セバスチャンさん、ライトアップ・アーティストの高橋匡太さんのコラボレーションで、琳派（RIMPA）の神々である「風神」「雷神」そして「花の女神フローラ」の彫像が展示されています。作品制作に、ヤノベケンジ教授の指導で本学の学内工房・ウルトラファクトリーのプロジェクトメンバーの学生たちが参加していました。

これらの行事からもわかるように多くの教職員や学生、卒業生が活躍する本学では、社会に通用する人材として皆さんが活動していくために、社会人として求められる基礎力と人間力を身につけるための教育を実施します。芸術によって社会に貢献しようとする高い志と、人一倍の意欲を持って、自立した人として活躍していただきたく思います。しかも文化の多様性を尊重しつつ、創作活動を展開する、皆さんがそのような力を養うことができるように、学習を深めて行くことを重視しています。

入学前学習プログラムは、厳しいと思うかも知れませんが、大学の入試に合格するということが、決して人生のゴールではないのです。そのことを理解して、来年 4 月の入学式を迎えるまでの努力が、自分自身の未来を決めると思って頑張ってもらいたいと思います。それが皆さんにはできると期待しながら教職員全員で皆さんを見守ってします。

入学おめでとうございます。ありがとうございました。